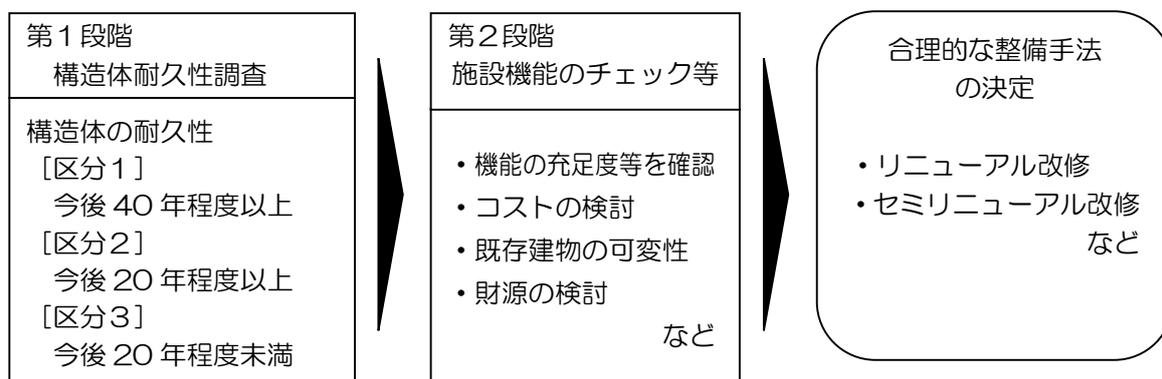


令和元年度 構造体耐久性調査について（概要）

1. 経緯

施設の長寿命化に向けて、平成 21 年度から概ね築 40 年を経過した旧耐震建築物を対象に、この先どのくらいの期間、建物を使用することができるか構造体の劣化の程度からその耐久性を調査してきており、令和元年度に完了したところです。

2. 長寿命化に向けての検討の流れ



3. 調査対象施設

概ね築 40 年程度の市設建築物を対象に調査を行っています。

今回は、令和元年度に構造体耐久性調査を行った 58 棟と、平成 30 年度から継続調査を行っていた 1 棟の計 59 棟の調査結果について公表します。

4. 構造体耐久性調査結果

今後期待できる使用期間		棟数
区分1	今後 40 年程度以上	40
区分2	今後 20 年程度以上	16
区分3	今後 20 年程度未満	0
今後、建物強度確認調査を行ったうえ耐久性の評価を行うもの		3
計		59